

広報

# あかいけ

# 9



町民ふれあい盆踊り

● 今年も盛り上がりました

「多目的広場」来年3月完成

● 役場前に何が出来ているの？

夏の成人式

● 新成人102人が参加

119番その前に覚えておきたいこと

● 9月9日は救急の日



↑たくさんの人だかりに露店も繁盛の様子。特に氷がよく売れていたようです。



→八区自慢の「竹踊り」。伝統ある踊りだけに難易度も高いです。



↑池永さんの太鼓に合わせた池田さんのくどぎ。女性二人の共演に会場は大いに盛り上がりました。



↑開始早々多くの人出で広場は埋めつくされました。



→「裕子と弥生」の素晴らしい歌声でイベントが幕開け。生で聴く赤池小唄と炭坑節は、さすがお見事でした。

# 響く太鼓にくどぎの声 踊りと花火が夏を演出

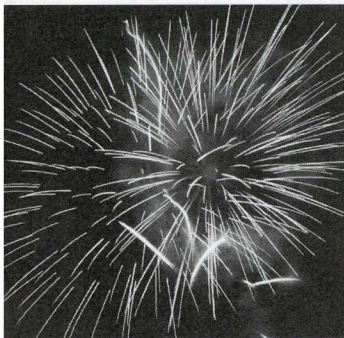
## 町民ふれあい盆踊りに 過去最高の三千人が参加

### 赤

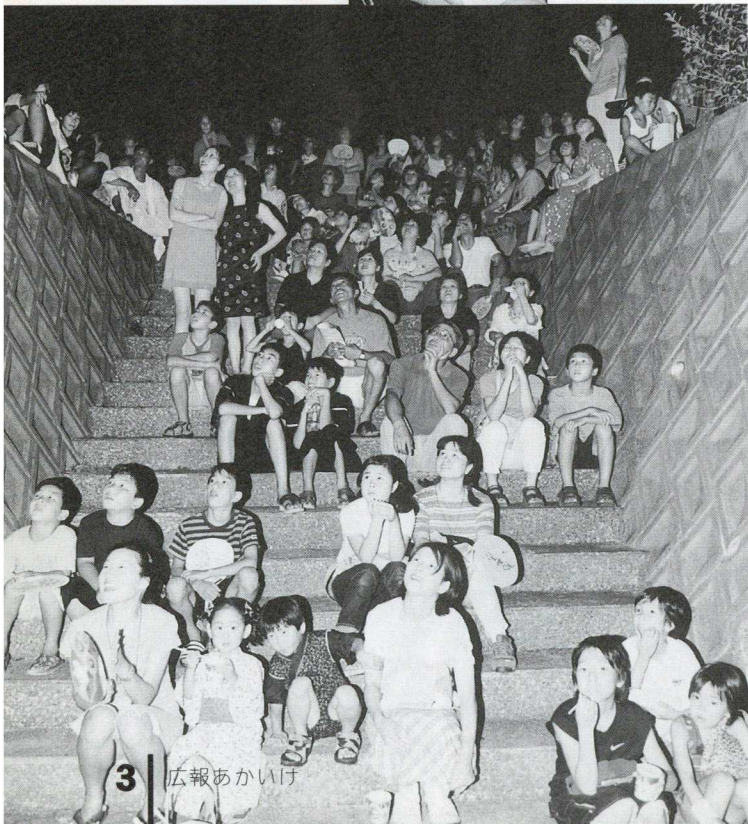
池の夏の風物詩「町民ふれあい盆踊り」が、八月十七日に町民会館

前広場で開催されました。華々しいオープニングを飾ったのは、ふたごの演歌歌手「裕子と弥生」のお二人。すばらしい歌声が、早くも会場を埋めつくした観衆を引きつけました。生の歌声に合わせて踊る「赤池小唄」と「炭坑節」は参加者の熱気を一気に上昇させます。提灯と露店のたくさんある明かりが照らす中、地区の踊りではおなじみの「くどぎ」が披露されました。特に盛り上がったのが九支所の「自転車踊り」です。池永綾さんの太鼓に合わせた池田ひとみさんの「くどぎ」。女性二人の共演に「ソレツ」の

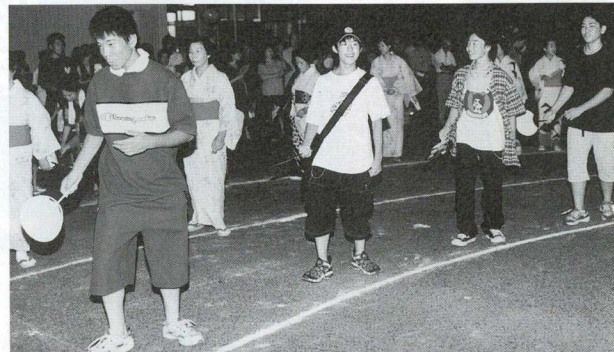
かけ声が会場中から沸き上がりました。注目を集めたのが八区の「竹踊り」。手に持った竹棒を前後の人と巧みに合わせていく踊りです。伝統ある踊りに、みんな興味津々の様子でした。あつという間には過ぎ、最後を締めくくる花火の時間がやってきました。赤池の花火は間近で見られるのが特徴です。無数の流星のような花火は頭上に落ちていきそうなくらいの迫力。例年より多い約三千人の参加者が見守る中、同じく例年より多い色鮮やかな花火が、赤池の夜空を彩りました。年々参加者が増えている「町民ふれあい盆踊り」。赤池の夏を代表するイベントとして定着しているようです。



初めて見る花火「キレイでちゅ」



←花火見物S席の階段。頭上に迫る迫力ある花火が楽しめます。



地域ごとに伝統ある盆踊りは、次の世代にも着実に引き継がれています。ゆかた姿の子どもたちもたくさん見られました。



↑上手にすくえましたか？露店での遊びは子どもたちに大人気です。



盆踊り開始前に行われた炭坑殉職者慰霊祭。赤池町では520人の尊い命が失われました。

